

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	新しい社会 公民	2 東 書
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・単元を貫く問い、節ごとの「探究のステップ」の設定、本時の学習課題をすべて問いで示している。問いを軸に構成し、生徒が見通しを持てる工夫をしている。 ・単元の導入の活動が生徒の身近な題材になっており、生徒が課題意識をもって取り組めるような工夫がされている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・1時間の授業や節、導入やまとめなどその時の学習に適した思考ツールを掲載することで、生徒の思考を深める構成となっている。 ・見方や考え方を働かせる活動では「見方・考え方マーク」があり、その見方・考え方を活用することで、深い学びにつながるような工夫がされている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・生活の中の具体的な場面で学習した内容が生かされることを示し、主体的に社会に参画する態度を育てることにつながるページが設けられている。 ・「みんなでチャレンジ」では個人活動、グループ活動と分けられており、主体的・対話的で深い学びをとおして学習内容を理解し確認ができる工夫がされている。
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>	
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科との関連マークや既習事項のマークが付けられ、横断的な学習が意識できる工夫がされている。 ・学習内容と関連した動画の視聴や、思考ツールの活用、参考法令集を閲覧することなどができる二次元コードを掲載している。	
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「もっと解説」や「もっと知りたい」が掲載され、より学習への興味・関心が高まるような工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・難しい用語を理解できるように、詳しく解説するコーナー「もっと解説」を設けている。	

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	中学社会 公民 ともに生きる		17 教出
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・章のはじめには「ウォーミングアップ！公民」のページが設定されている。その章の学習内容に関連した問いに取り組み、その章の単元を貫く問いを捉え、章の学習の見通しがもてるように工夫されている。 ・章の導入ページ「学習のはじめに」では、これから学習する章全体の内容や学習のねらい、学習する際の視点が捉えられるようになっている。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・「THINK！」のコラムが見開きページに設定されている。学習内容に即し、資料を読み解きながら思考を広げ、深められるように工夫されている。 ・見開きページごとに設定された表現では、各章で示されている見方・考え方の視点から表現することで、思考を広げ深められるように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各章のまとめのページでは、「HOP」「STEP」「JUMP」と段階を分けてまとめをするようにして、学習したことを理解確認できるように工夫されている。 ・「公民の窓」のコラムが39編ある。見開きページの内容からより学びを掘り下げている。生徒が学んだことを生かし、より学習に興味・関心を抱き、生活を豊かにできるような工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各章の「学習のまとめと表現」では、学習内容とSDGsを関連付けて考える項目が設定されている。 ・各見開きページに学習内容と関連するSDGsのアイコンが示され、学習内容とSDGsを関連付けて考えることができる構成となっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「持続可能な社会に向けて」の見開きページでは、章や節で学習したことをSDGsと関連させることで、より深く持続可能な未来に向けて学びたくなるように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・難解な用語や補足説明が必要な事項には、「用語解説」を掲載し、生徒が理解しやすいように工夫されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	社会科 中学生の公民		46 帝 国
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章、各節、見開きの問いと振り返りに関連性があり、生徒が見通しをもてるような構成となっている。 ・各章の「学習の前に」の見開きページでは学習への興味・関心が高まり、学びたくなるように身近な場面の「TRY」を設定している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・見開きページで設けられている「アクティブ公民」では、現代社会において起こりうる事例が課題として示され、活動を取り入れた学習を通して、それまでの学習を生かし、深い学びができるように工夫されている。 ・各章の振り返りには対話を促す設問があり、意見交換等の学びあいを通して思考が深まるように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・学習の振り返りでは節ごとに図で知識を整理し、問いについて考えること、それらを用いて問いについて考えること、のように細分化され、学んだことが理解確認できるようにまとめが工夫されている。 ・「18歳への準備」の見開きページでは、生徒が18歳で成人を迎えた際に、その節や章で学習したことを生かして生活を豊かにできるようにするための取り組みや課題、活動が提示されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・他教科や他分野との関連マークや既習事項のマークが付けられ、横断的な学習が意識できる工夫がされている。 ・「技能をみがく」では、ディベートやディスカッションの技術を習得できるように工夫されており、問題解決能力を身に付けることができるような構成となっている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「公民プラス+」や「未来に向けて」では、見開きページの学習内容と現代の出来事や課題に関することが記述され、生徒の興味や関心を引き立てる工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・象的な概念や理解が難しい制度・事象については、かみ砕いた表現の本文にし、端的な定義、解説、身のまわりの事例が続くように分かりやすく工夫されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	中学社会 公民的分野		116 日 文
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各章の導入では、章の学習内容と身近な場面とを結ぶまんがを活用しながら、「学習課題(問い)」をつかみ、学習の見通しがもてるような工夫がされている。また、章の学習課題をつかむ課程においては、「学びあい」アイコンを設けて、協働的な学び合いをとおして学習課題がつかめるような構成となっている。 ・1単元時間を見開き1ページとし、導入になる写真資料とそれに関係する問いかけを設けている。また、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」として示している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・1単元時間ごとに学習課題の解決に向けた手がかりとなる「見方・考え方」を示している。 ・資料をもとに「見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する問いを示し、思考力・判断力・表現力等を養う「アクティビティ」が41か所設けられている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・各章のまとめは、「語句の意味を確認しよう」「章の問いに答えよう」「章の学習を振り返ろう」の大きく3つから成り立っており、知識の定着とともに、思考力や表現力等を活用したまとめの構成となっている。 ・まとめには、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」が設けられ、各章で身につけた見方・考え方を生かし、学習内容と実社会とを結び付ける活動が取り入れられている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・SDGsに関連する内容を随所に設け、第4編第2章では、持続可能な社会の実現のための課題を生徒自らが設定し、その解決に向けて考察、構想する探究学習が設けられている。 ・「情報スキルアップ」が2か所設けられ、情報の読み取りや活用に必要な知識や技能を学習する活動を取り扱っている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・現代社会の出来事として実感が得られるように動画教材を設けている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・本文は「UDフォント」を使用し、平易な文章で、抽象的・網羅的な記述は避け、具体的に記述されている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

書名 項目	新しい公民教科書		225 自由社
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・各単元の最初に学習課題を設定し、最後に確認事項をまとめた「ここがポイント！」が示され、基礎的・基本的な知識を周知させることを目指した学習に取り組めるよう工夫されている。 ・見開きには、本文の周りに用語解説を設け、1単位時間の最後に内容をまとめる記載があり、学習課題を解決できるよう工夫している。	
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫	・各章最後にテーマを選択・考察し表現する「学習の発展」や現代社会の見方・考え方を働かせて考察する「アクティブに深めよう」が設けられ、思考を広げ深める工夫がされている。 ・学習内容を深化させるための調べ学習や話し合い活動の視点を示した「アクティブに深めよう」や「やってみよう」が設定されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・学習効果を高めるために各単元の見開きには「ミニ知識」というコラムを設け、重要な事柄をより深く理解することができるよう、関連する単元に特設ページ「もっと知りたい」というコラムが設定されている。 ・各章の「学習のまとめと発展」では、章の学習を発展させるためにテーマを選択し、既習事項を生かしてまとめることで、何を学んだのかを捉えられるような工夫がされている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・各章の最後に「学習のまとめと発展」、終章のレポート、卒業論文、ディベート等が設定され、様々な表現活動に取り組めるよう工夫されている。 ・終章では「論文の書き方」等が示されており、技能を身に付けられるよう工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・見開きの上部に学習の中心となる資料が、写真等で大きく掲載されている。また、資料に見開きで通し番号が付けられ、学習の流れが分かるよう工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・重要語句は太字で表記されている。また、内容理解の補助として、本文の周りに用語解説を設けている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会（公民的分野）】

<p>書名 項目</p>	<p>新しいみんなの公民</p>		<p>227 育鵬社</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の冒頭の「入り口」では、学習を貫く課題（問い）を示し、学習の見通しを持つことができるようになっている。また、なぜ学ぶのかを解説したコラムを設け、学習内容が自らの日常生活や将来にどのように役立つかが理解でき、学習意欲を高める工夫がされている。 ・1単元時間ごとに学習課題が示されているとともに、その課題を認識する導入資料とその資料を読み取るための視点を提示し、課題を主体的にとらえられるよう工夫されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」を働かせ学習を深めるコーナーや「資料活用」のコーナーでは、学習に必要な情報を集めたり、読みとったり、まとめたりする資料活用能力が育成できるよう工夫がされている。 ・小集団による話し合いやディベート、シミュレーションなどの参加型学習を掲載する「やってみよう」が設けられている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単元時間ごとの学習課題を解決する[確認]と[探究]を設け、それぞれ基礎的、基本的な内容の学習を確認し、学習内容を参考にした説明を自らの言葉でまとめられるように工夫されている。 ・章の学習内容を活かして、学びを深めるための「これから」を設け、見方や考え方を広げ、物事の多様性に気づいたうえで、学びを深められるような構成となっている。 	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習やグループでの話し合い、発表など主体的・対話的で深い学びの実現に向けた活動を促す「TRY!」を設けている。 ・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、未来の姿を構想できるような課題に取り組む「これから」を設けている。 		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表類には適宜、理解を深めるための解説が示されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文はUDフォントを採用し、難解な法律用語等には補足をつける等の配慮がされている。また、生徒の理解を助けるために、適宜イラスト等を用いて表現している。 		